

2019年9月26日
神戸大学

2021年度（2020年度実施）神戸大学入学者選抜における
英語資格・検定試験の利用について

2021年度（2020年度実施）神戸大学入学者選抜における入試方法等の変更については、2019年3月22日に公表しているところですが、このたび、英語資格・検定試験の利用について、その詳細を決定しましたのでお知らせいたします。

1. 一般選抜（現行の一般入試）

（1）英語資格・検定試験結果の活用

大学入試センターが認定した全ての民間の英語資格・検定試験の成績を本学への出願要件として活用し、出願要件の基準は、CEFR対照表における「A2」レベル以上としております。

（2）大学入試英語成績提供システムの利用

大学入試英語成績提供システムを利用します。

また、成績請求・提供のスケジュールについては、大学入試センターが定める3つの期間（受験期間A・B・C）すべてを対象とし、どの期間で受験してもその結果を活用します。

なお、大学入試英語成績提供システムが提供する2回の成績については、CEFRの段階が良い方の成績を利用します（例：1回目の成績がA2、2回目の成績がA1であった場合は、1回目の成績を利用します。）。

2. 総合型選抜（現行のAO入試）及び学校推薦型選抜（現行の推薦入試）

総合型選抜及び学校推薦型選抜においては、大学入試英語成績提供システムを利用しないこととしました。

ただし、総合型選抜では「志」特別入試の一部の学部・学科、及び学校推薦型選抜では国際人間科学部グローバル文化学科において、引き続き現行と同様に英語資格・検定試験の結果を活用する予定です。

詳細については、後日決定し次第、公表します。